学校番号	101

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅱ	3	第２学年	Harmony　English Logic and Expression Ⅱ（いいずな書店）、Harmony English Logic and Expression Ⅱ All-in-One Workbook（いいずな書店）、チャンクで英単語 Standard 第２版（三省堂）、チャンクで英単語 Standard 第２版 ドリルノート①（三省堂）、パターンプラクティス英文法ワークショップ（桐原書店）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語や文化に対する理解を深め，コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに，論理的な思考力を養い，論理の展開や表現の方法を工夫し，伝える能力を養いましょう。教科書の題材は、実生活に即応したバラエティに富んだ内容が扱われています。また、実際に言語活動を行いやすいように、具体的な指示・モデルパターンが掲載されています。論理的な意見構築や文章構成の基礎となる論理的に正しい文と機能表現を習得し、相互交流を意識した言語活動が行えるようになりましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】履修科目：「論理・表現Ⅱ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した副教材

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくりはっきりと話された日常生活に関する指示の要点を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる。	・簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。 ・簡単な語句や表現を用いて書かれた短い物語を読み、あらすじを理解することができる。	・基本的な表現を使って、道案内などの指示をすることができる。 ・身近なトピックについて、イラストやものを補助的に用いて、簡単な語句や表現を用いて意見交換をすることができる。	・絵、写真などの視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使い、身近な話題について短く話をすることができる。 ・簡単な語句や文を使い、趣味や特技にふれながら、自己紹介をすることができる。	・日常的な内容であれば、招待状、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。 ・簡単な語句や基礎的な表現を使いながら、and, but, because などで文と文をつないで日記や説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きや重要な概念などについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識や概念を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 ・知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・知識及び技能の獲得や思考力，判断力，表現力等の習得に向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 During Spring Vacation Lesson 2 My Favorite Star	聞くこと	a,b,c: 現在形・過去形・未来の表現を用いた出来事の説明（最近行った場所やよく行く場所、最近の行動）を正しく聞き取り、理解することができる。 現在完了形・過去完了形を用いた人物の経歴を正しく聞き取り、理解することができる。	授業観察・ ペアワーク・
		読むこと	a,b,c: 現在形・過去形・未来の表現を用いた出来事の説明文（最近行った場所やよく行く場所、最近の行動）を正しく読み取り、内容を理解することができる。 現在完了形・過去完了形を用いた人物の経歴や、他者の意見について書かれた英文を正しく読み取り、理解することができる。	定期考査
		話すこと （やりとり）	a: 現在形・過去形・未来の表現、また現在完了形・過去完了形を適切に用いて，会話できる。 b: Narrative の構造を適切に用いて、会話を続けることができる。事柄や話題について、内容を整理し、完了形を含む適切な動詞の時制を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c: モデル会話の人物になりきって，最近の出来事や有名人の経歴を説明することができる。 ペアになって自分が行ってみたい場所について説明したり、パートナーが行ってみたい場所を聞いて質問したり感想を伝えることができる。	授業観察・ インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 現在形・過去形・未来の表現を適切に用いて、最近の出来事について説明することができる。 現在完了形・過去完了形を適切に用いて、有名人について説明することができる。 b: Description の構造を適切に用いて、有名人の経歴を説明することができる。 c: 完了形を含む適切な時制を用いて、自分が周囲にもっと知ってほしいと思う人物について紹介することができる。	プレゼンテーション
		書くこと	a,b,c: 現在形・過去形・未来の表現、また現在完了形・過去完了形を用いて、正しく英文を書くことができる。 適切な動詞の時制を用いて、最近行った場所やよく行く場所について書くことができる。 示された人物の最近の行動を、完了形を含む適切な動詞の時制を用いて、正しく描写することができる。 過去形を用いて、自分が最近行った場所について書くことができる。また、現在完了形・過去完了形を用いて、偉大な人々の行動や業績を説明する英文を書くことができる。	定期考査・ 小テスト

	中間考査			
	Lesson 3 My Career Path Lesson 4 Talking about Japanese Culture	聞くこと	a,b,c: 助動詞を用いたプロの仕事についてや、将来したいこととそのためにすべきことについての説明を正しく聞き取り、理解することができる。 受動態を用いた日本の伝統行事や建造物についての説明を正しく聞き取り、理解することができる。	授業観察・ ペアワーク・
		読むこと	a,b,c: 助動詞を用いたプロの仕事についてや、将来したいこととそのためにすべきことについての説明を正しく読み取り、内容を理解することができる。 受動態を用いた日本の伝統行事や建造物についての説明を正しく読み取り、理解することができる。	定期考査
		話すこと （やりとり）	a: 助動詞や受動態を適切に用いて、会話できる。 b: Example の構造を適切に用いて、会話を続けることができる。事柄や話題について、内容を整理し、適切な助動詞や受動態を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c: モデル会話の人物になりきって, 製品の特徴を説明することができる。 ペアになって自分の将来の計画について説明したり, パートナーの将来の計画を聞いて, そのためにしていることを質問したり感想を伝えたりすることができる。	授業観察・ インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 助動詞を適切に用いて、さまざまな職業や日本の建造物について説明することができる。 b: Description の構造を適切に用いて、日本の文化・ものを客観的かつ一貫性をもって説明することができる。 c: 助動詞や受動態を適切に用いて、世界に発信したい日本のものについて紹介することができる。	プレゼンテーション
		書くこと	a,b,c: 助動詞や受動態を用いて、正しく英文を書くことができる。適切な助動詞を用いて、プロの仕事についてや、自分が将来したいこととそのためにすべきことについて、書くことができる。 適切な受動態を用いて、日本の伝統行事や建造物について書くことができる。	定期考査・ 小テスト
	期末考査			
2	Lesson 5 Disaster Prevention Lesson 6 Town Planning Lesson 7 Foods and Culture Lesson 8 ICT and Universal Design	聞くこと	a,b,c: 不定詞を含む表現を用いた都会暮らしと田舎暮らしの違いについてや、分詞を用いた ICT 社会とバリアフリーについての説明を正しく聞き取り、理解することができる。	授業観察・ ペアワーク・
		読むこと	a,b,c: 不定詞を含む表現を用いた都会暮らしと田舎暮らしの違いについてや、分詞を用いた ICT 社会とバリアフリーについての説明を正しく読み取り、理解することができる。	定期考査
		話すこと （やりとり）	a: 不定詞（名詞用法・形容詞用法・副詞用法）・動名詞・分詞を適切に用いて，会話できる。 b: 事柄や話題について，内容を整理し，適切な不定詞や動名詞、分詞を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。 c: ペアになって災害時の行動について話し合うことができる。ペアになって、自分が住みたい街や vegan が食べられるもの・バリアフリー化されていない場所について説明したり, それぞれのパートナーの説明に対して理由を質問したり感想を伝えたりすることができる。	授業観察・ インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 不定詞や不定詞を含んだ表現を適切に用いて、災害時の行動や理想の街について説明することができる。 動名詞を用いて適切に用いて、料理について説明することができる。 分詞を適切に用いて、バリアフリーについて説明することができる。 b: Process の構造を適切に用いて避難訓練を説明したり、Reason の構造を適切に用いて都会暮らしと田舎暮らしを説明することができる。 Cause and Effect の構造を適切に用いて、食べ物について説明することができる。 c: 不定詞や不定詞を含んだ表現を適切に用いて、自分がとる具体的な災害時の行動を説明することができる。また、現実の街の問題点を明確にした上で、理想の街を説明することができる。 動名詞を適切に用いて、自分がよく食べる食材とそうでない食材について、理由を添えて説明することができる。	プレゼンテーション

			分詞を適切に用いて、身近な場所がバリアフリーかどうかと、その解決策や感想も含めて説明することができる。	
		書くこと	a,b,c: 不定詞（名詞用法・形容詞用法・副詞用法）・動名詞・分詞を用いて，正しく英文を書くことができる。 適切な不定詞を用いて，災害対策グッズについてや、災害対応マニュアルを書くことができる。 示された状況の内容を、適切な不定詞を使った表現を用いて、正しく描写することができる。 適切な動名詞を用いて、人の習慣や癖についてや食べ物の選び方について書くことができる。 適切な分詞を用いて、新しい機器の機能についてやバリアフリーのためのスマートフォンの新しい機能やアプリについて書くことができる。	定期考査・ 小テスト
	中間考査			
	Lesson 9 World Peace Lesson 10 Volunteering Abroad Lesson 11 Health and Lifespan Lesson 12 If the World Were ...	聞くこと	a,b,c: 関係代名詞を用いた世界平和に貢献した人物についてや、比較表現を用いた各国の健康・医療に関するデータについての説明を整理しながら正しく聞き取り、理解することができる。	授業観察・ ペアワーク・
		読むこと	a,b,c: 関係代名詞を用いた世界平和に貢献した人物についてや、比較表現を用いた各国の健康・医療に関するデータについての説明を整理しながら正しく読み取り、理解することができる。	定期考査
		話すこと （やりとり）	a: 関係代名詞・関係副詞・比較・仮定法を適切に用いて，会話できる。 b: 事柄や話題について，内容を整理し，適切な関係詞（代名詞・副詞）・比較・仮定法を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。 c: グループになって、世界平和に貢献した人物を紹介することができる。 ペアになって、自分が参加してみたい海外ボランティア活動についてや偉大な発明について説明したり，それぞれのパートナーの説明に対して理由を質問したり感想を伝えたりすることができる。 ペアになって、各国の健康・医療に関するデータを比較してパートナーに説明したり、履修を質問したり感想を伝えたりすることができる。	授業観察・ インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 関係代名詞を適切に用いて、世界平和に貢献した人物についてを、関係副詞を適切に用いて、海外でのボランティア活動について説明することができる。 比較を適切に用いて、与えられてデータから読み取れることについて説明することができる。 仮定法を用いて、偉大な発明について説明することができる。 b: Narrative の構造を適切に用いて世界平和に貢献した人物についてや、Comparison の構造を適切に用いて長生きの秘訣を、Viewpoint の構造を適切に用いて別の視点から状況を、それぞれ説明することができる。 c: 関係代名詞を適切に用いて、自ら選んだ世界平和に貢献した人について、時間軸に沿って出来事を順番に説明することができる。 比較したデータを紹介しながら、日本の健康と医療についてその理由と感想を説明することができる。 仮定法を適切に用いて、自分が最も偉大だと思う発明について、その理由とそれがなければどれほど不便かを説明することができる。	プレゼンテーション
		書くこと	a,b,c: 関係詞（代名詞・副詞）・比較・仮定法を用いて，正しく英文を書くことができる。 適切な関係代名詞を用いて，示された人物が必要としているものを正しく描写することができる。 適切な関係副詞を用いて、海外ボランティアの活動報告やボランティア活動の意義について書くことができる。 適切な比較を用いて、健康維持についてや日本の医療の問題点と改善点について書くことができる。 適切な仮定法を用いて、現在と異なる状況について書くことができる。	定期考査・ 小テスト

	期末考査			
3	Lesson 13 Culture and Perception Lesson 14 World News Lesson 15 Be Yourself	聞くこと	a,b,c: 時制の一致と話法を用いたニュースとそれに対する感想や、無生物主語や強調構文を用いた自分らしい生き方についての投稿を整理しながら正しく聞き取り、理解することができる。	授業観察・ ペアワーク・
		読むこと	a,b,c: 時制の一致と話法を用いたニュースとそれに対する感想や、無生物主語や強調構文を用いた自分らしい生き方についての投稿を整理しながら正しく読み取り、理解することができる。	定期考査
		話すこと （やりとり）	a: 否定と疑問・時制の一致と話法・要求/提案の表現や無生物主語と強調構文を適切に用いて，会話できる。 b: 事柄や話題について，内容を整理し，適切な否定と疑問・時制の一致と話法・要求/提案の表現や無生物主語と強調構文を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。 c: ペアになって、最近のニュースについての紹介や感想を伝えたり，パートナーの説明に対して理由を質問したり感想を伝えたりすることができる。 グループになって、充実した生活を送るヒントについてメンバーに質問したり、質問に答えたりすることができる。	授業観察・ インタビューテスト
		話すこと （発表）	a: 否定・疑問の表現を適切に用いて、さまざまな文化について説明することができる。 時制の一致・話法を適切に用いてニュースの内容について説明することができる。 要求/提案の表現・無生物主語・強調構文を適切に用いて、現在の自分を形作っているもの・ことについて説明することができる。 b: Emphasis の構造を適切に用いて、文化による認識の違いを説明することができる。 Reporting and Analysis の構造を適切に用いて、ニュースの内容を説明することができる。 Suggestion の構造を適切に用いて、進路について説明することができる。 c: 否定や程度を表す表現を適切に用いて、世界の名画の「空」の色について聞き手を意識して言葉を選びながら説明することができる。 時制の一致・話法を適切に用いて、最近のニュースから興味深いものを選び、その報道内容と感想を説明することができる。 提案の表現や無生物主語・強調構文を適切に用いて、自分なりの「より充実した生活を送るヒント」を説明することができる。	プレゼンテーション
		書くこと	a,b,c: 否定・疑問の表現、時制の一致・話法、要求/提案の表現・無生物主語・強調構文を用いて，正しく英文を書くことができる。 適切な否定の表現を用いて，日本の季節を１つ取り上げ、その季節を象徴するものに触れながら日本の四季を体験したことがない人に向けて説明する文を書くことができる。 適切な時制の一致や話法を用いて、示された人物がインタビューされたことを間接的に伝える文を書くことができる。 適切な要求/提案の表現を用いて、ソーシャルメディアに投稿するつもりで、後悔のない高校生活について提案をする文を書くことができる。	定期考査・ 小テスト
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度